

## 編輯室の内外

△新緑の候と爲つた、人間でなくとも矢張り若いものが可い、潑刺たる元氣と燃ゆるやうな若葉、ともに吾等の友である、編輯室に此意氣を藏する以上本誌にも其の表はれがある筈だ、同業他誌が原稿の蒐集に奔走してゐるのに吾れには自然的に集まつて來る、本誌の聲價の上る故なきに非ずと言ふべきである。

△執筆者に武若時一郎君を得たことは、更に本誌の誇とするところである、同君は同業誌「港灣」に港灣論を主張し斯界に有名な人、道路港灣共に交通機關として相關關係を持つるもの、港灣の改良を主張する君が、其の立場に於て又路政を論ずる、そこに交通論の要求する路政が研究され讀者各位に貢獻する何ものかある筈、吾人は良き同志を得たことを喜ぶ。

△政府の道路改良の實現を期するが爲に道路法を改正する肚をきめたと聞く、寔に機宜に適したことで吾人は双手を擧げて賛成するものであるが、路政を執行する機關の便不便の如きは些少事であつて改正の眼目

ではない、現代道路の改良が遅々として進まないのは畢竟するにお金が無い爲である

故に道路法改正の目的とするところは道路改良費の財源を提供するにある、近時聞くところに依れば高橋藏相は税制を改正すると、此時に方つて吾等が年來主張して來たガソリン税を一般財源に取り上げられては、道路改良費財源を失ふて路政上由々敷きことゝ爲る、當局は道路法の改正に方つて税制の改革を如何に取扱はんとするのであるか懸念に堪へない、國務大臣として主張すべきときに行政大臣に轉名し、各省大臣として活動すべきときに國務大臣然として濟まして居る如きは寔に心細い、當局の緊鞭を望むや切である。

△若き土木技術官に依つて主張された、内務省技術官の更迭、愈々唐澤内務省土木局長の手に依つて斷行されむとする、若きものゝ満足は勿論のことであるが、土木技術界に一新生氣を興ふることゝ爲ることが吾等の歓迎するところである、併し老人を排斥したことだけでは一新味を起さない、殘つた若き者が日夜研鑽して興へられた職務に貢獻する事こそ改革の實を擧ぐる所以、

青年技術官よ、此決心と覺悟を忘るゝこと勿れ。

▽本會新年度の事業の一つとして、東海道改良道路の視察計畫がある、東組は東京を發して大阪へ、西組は大阪を發して東京へ何れも自動車を驅つて改良された國道を批評せむとするのである、之に依つて道路技術の應用を紹介すると同時に各自の所見を公表して世上に問はむとするもの、道路大會の夫れと同じく近時の快舉と言ふべきであらう、其の詳細は來月號に報道する。

定價一部 五十錢  
一ヶ年分 金 六圓

東京市龜町區外櫻田町一番地内務省内  
發行所 社團 道路改良會  
東京市澁谷區幡ヶ谷本町三丁目三五六  
發行所 小島 效

東京市小石川區諏訪町五六  
印刷所 常磐印刷所  
印刷者 堀江關武